

ある群像

2019年12月号

公益社団法人 好善社

東京都目黒区中町1-7-4

〒153-0065

電話：03-3712-3845

Fax：03-3791-1150

2019年11月25日

発行 三吉信彦

編集 長尾文雄



第15回タイ国青少年ワークキャンプ。道路のコンクリート舗装作業。(6頁参照) 撮影/阿部春代

ハンセン病家族訴訟勝訴

一九九八年に提訴された国賠訴訟に続く二〇一六年のハンセン病家族訴訟の判決が、今年六月二十八日「原告勝訴」の結果を得ました。

これまで、療養所に強制隔離されたハンセン病患者の人権回復と賠償が裁判によって勝ち取られてきました。この度は、その家族たちが社会の中で受けてきた偏見・差別の実態を訴え、その原因が国の誤った政策にあり、患者の強制収容に伴い家族をも巻き込む「社会構造」にあることが明らかにされ、原告の主張が認められたのでした。幸い、先の国賠訴訟の時と同様、今回も政府は控訴せず、裁判は終了しました。

その後、補償金の金額や支給の範囲など、原告・弁護団の粘り強い交渉の結果、ほぼ納得のいく結果が得られました。ただ、原告六百余名の中で数名以外は匿名という現実、また経済的な補償だけでは、差別の本質は解消されません。

課題は、差別・偏見解消のための具体的施策の推進です。諦めず、地味であっても粘り強く啓発活動をしなければなりません。私も好善社も、その役割の一端を担っていく責任を改めて自覚しています。

理事・棟居 勇

好善社短信

◆阿部春代理事（看護師）

コンケン県立シリントン病院での
二九年間の勤務終了

好善社が同病院に派遣していた阿部春代社員（理事）は、この九月末で二九年間の勤務を終了しました。今後もおおタイ国内外での働きは続けます。看護師として、好善社社員として、回復者村への巡回診療や高齢者へのケア、姉妹団体チャントミット社の支援、またラオスへの関わりなどの業は継続されます。

今回、一応の区切りとして、阿部社員の二九年を振り返っての講演を計画中です。今後とも阿部社員への応援をよろしく願います。

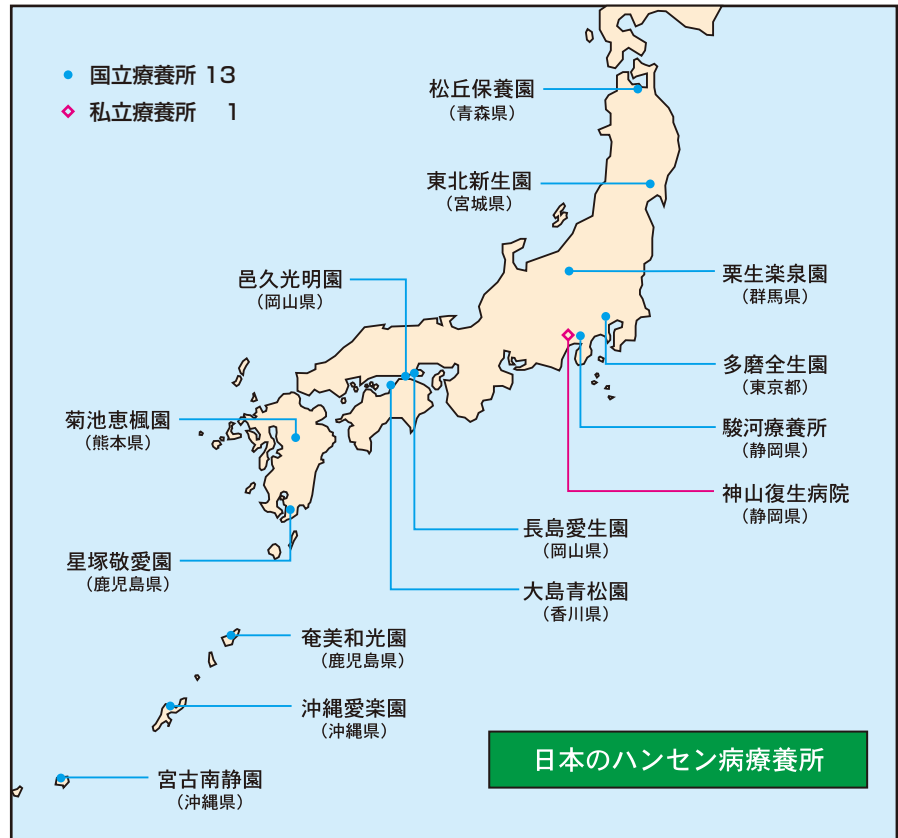
◆多磨全生園創立二〇周年記念式典

九月二八日（土）一三時より、全生園コミュニティセンターで開催され、好善社は招待を受け、代表理事が出席しました。強制収容を強い療養所の創立を祝う意図ではなく、一九四二年に好善社の慰廢園が閉園を余儀なくされた際に、入所者五〇数名を全生園に受け入れられたという経緯から出席を決めた次第です。厚生労働大臣、東京都福祉保険局長、東村山市市長などの挨拶がありました。

全生園の現在の入所者は一五〇人を切っています。次の一二〇年記念は果たして？との思いを胸に門を後にしました。

（理事・三吉信彦）

国立療養所 入所者数 2019年5末日現在			
	男	女	計
松丘保養園	25	40	65
東北新生園	22	36	58
栗生楽泉園	31	31	62
多磨全生園	71	85	156
駿河療養所	27	23	50
長島愛生園	81	69	150
邑久光明園	36	50	86
菊池恵楓園	28	25	53
星塚敬愛園	81	112	193
奄美和光園	51	65	116
奄美和光園	7	16	23
沖縄愛楽園	68	72	140
宮古南静園	31	28	59
19年5月計	559	652	1211
18年5月計	622	711	1333
前回比	-63	-59	-122



2019/5<全療協・提供

12月・クリスマス募金のお願い
国内とタイ国のハンセン病に関わる好善社を支えてください！

2019年度募金（会費・寄付）目標額 1,000万円



シリントン病院から、阿部春代社員への感謝と送別の記念楯が贈られました。

タイ国ハンセン病支援事業

阿部看護師のシリントン病院での活動は、9月末で終わりましたが、好善社のタイ国のハンセン病事業支援は継続しています。そのために、今年度805万円が必要です。

チャントミット社は、ハンセン病コロニーの高齢となり、不自由度のました元患者を支援しています。

国内ハンセン病支援事業

- 療養所訪問・交流活動
入所者の思いの傍らに身を置くために。
- 講演会・出版・啓発活動
元患者・入所者のいのちの尊厳と名誉回復のために。
- ハンセン病問題の解決と「療養所の将来構想」の実現、社会の差別・偏見の解消を願って。

タイ国のハンセン病に関わって

1982年以來、好善社はタイに関わり、阿部春代理事（看護師）を29年間派遣するとともに、1987年タイに設立された姉妹団体チャントミット社（ハンセン病関係NGO）への財政支援・人的交流を続けています。

ハンセン病問題の今

日本国内ハンセン病療養所は、2019年5月1現在入所者数1,211名となり、平均年齢は86歳。急速な高齢化です。

ハンセン病問題は、「らい予防法」廃止23年を迎え、その間、「国家賠償請求訴訟」勝訴、「ハンセン病問題基本法」の施行、「ハンセン病家族訴訟」原告勝訴など、解決に向かってはいるようですが、いまだに「特別法廷」など十分な解決をみていません。社会の偏見・差別の払拭を強く求めます。

2019年度収支予算（抜粋・単位円）

療養所訪問・広報宣伝費	4,430,000
タイ国支援事業・チャントミット社支援	1,500,000
・看護師派遣	3,850,000
・現地調査・交流費	2,700,000
事業運営費	7,990,000
収入 会費	3,600,000
寄付	7,900,000
雑収入 ほか	50,000

2019年11月25日

公益社団法人 好善社 代表理事 三吉信彦
理事 棟居 勇 朝倉秀之 川崎正明
加藤裕司 阿部春代 乗 圭子
本行輝雄